

キクの摘蕾剤に関する研究

木村喜久夫

1. 各処理区は開花期がややおくれる。
2. 上部位で摘蕾効果の認められる中には、花芽分化後に中間部位より側枝萌芽することがある。
3. 電照打切後、2週間で処理すると薬害が多く、4週間で花芽分化後に使用すると薬害は少ない。
4. TD-445C, MN+Tween21 および MN+Tween80 は薬害は少ないが、効果も低い。
5. TD-445 および off-shoot-T は薬害が多く、使用不可能である。